

ダイオキシン類測定分析結果表

清掃センター（平成18年度） 表1

物質名	単位	基準値	1号炉	2号炉	
ダイオキシン類	排ガス	ng-TEQ/m	5	0.079	0.046
	飛灰	μN	3	0.75	1.3
	焼却炉	ng-TEQ/g	3	0.001	0.00073
一酸化炭素	ng-TEQ/g	100	6	3	
ばいじん	ppm	0.15	0.06	0.08	
塩化水素	g/m ³ N	700	75	82	

日向地区斎場東郷霊苑 表2

物質名	単位	17年度	18年度
ダイオキシン類 (排ガス)	ng-TEQ/m ³ N	0.44	0.71
一酸化炭素	ppm	14	11
ばいじん	g/m ³ N	0.001	0.001
塩化水素	mg/m ³ N	9	33



日向地区斎場東郷霊苑



広域連合清掃センター

清掃センター測定結果

日向市富高の清掃センターは、広域のごみ処理施設として日向市、門川町、美郷町（西郷区を除く）及び諸塚村で出されたごみを焼却しています。こうした焼却施設は、法律でダイオキシン類の測定が義務付けられ、結果を都道府県知事に

ダイオキシン類測定結果を公表します

基準値をクリア

届出ることになっていました。このため、清掃センターでは、昨年12月に専門機関による測定を行いました。測定結果は表1のとおりで、いずれも基準値をクリアし、適正に運営管理されていることが実証されました。

東郷霊苑測定結果

日向市東郷町にある日向地区斎場東郷霊苑は、広域の火葬場として平成17年度に供用開始しました。東郷霊苑では、昨年と今年の2月に専門機関による測定を行いました。

火葬場でのダイオキシン類の測定は法律で義務付けられています。施設の適正な管理運営のため自主的に行っているものです。測定結果は表2のとおりです。

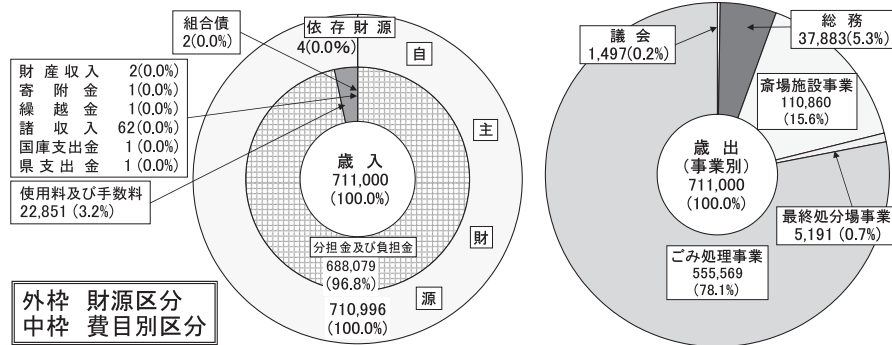
～おまな内容～

- 1P ダイオキシン類数値の公表
- 2P 広域連合組織図
- 3P 19年度予算
- 4P 広域連合議会だより
- 5P 構成市町村の取り組み
- 6P 清掃センターだより

平成19年度の当初予算 7億1,100万円

平成19年度は、前年度同様に施設の管理運営を中心とした予算です。前年度と比較して、3千400万円（5%）の増です。斎場を建設する際に借りたお金の返済金の増額が主な理由です。

平成19年度日向東臼杵南部広域連合予算 (単位:千円)



平成19年度の市町村別・事業別分担金の内訳 (単位:千円)

事業名 市町村名	一般管理費	最終処分場 事業	斎場施設事業		ごみ処理事業		合計
			運営管理費	建設費	運営管理費	建設費	
日向市	20,326		11,890	39,582	197,309	87,219	356,326
門川町	8,064	2,799	4,330	12,622	65,176	25,449	118,440
美郷町	4,040	1,148	2,539	8,928	22,625	13,754	53,034
諸塚村	3,447	530	1,380	2,878	18,826	4,758	31,819
椎葉村	3,436	712	1,097	2,762	19,529	5,226	32,762
合計	39,313	5,189	21,236	66,772	323,465	136,406	592,381

平成19年度の主な事業

○斎場施設事業費

・斎場炉内耐火物補修工事（新規）
平成17年度から供用開始している斎場の6基の炉内の耐火物を補修します。2～3年程度で補修の必要が生じます。

・火葬炉設備保守点検業務委託（新規）

施設供用開始から2年を経過し、施設の保守点検業務が新たに発生したものです。

○ごみ処理事業費

・清掃センター排ガス処理設備改修工事（1号炉）
排ガス中のばいじんなどをろ過し、きれいなガスを排出する設備のフィルター交換などの改修工事。平成18年度の2号炉に引き続き1号炉を実施します。

・清掃センター炉内耐火物補修工事

清掃センターの焼却炉の中は900度から1000度になります。そのため、炉の壁面等の耐火物を4～5年に一度補修する必要があります。



平成19年4月から、広域連合の組織体制が一部変更になります。

これは、地方自治法の改正によるものです。普通地方公共団体（市町村）では、助役の名称が「副市町村長」となり、また、収入役に代えて、「会計管理者」を置くことになりました。

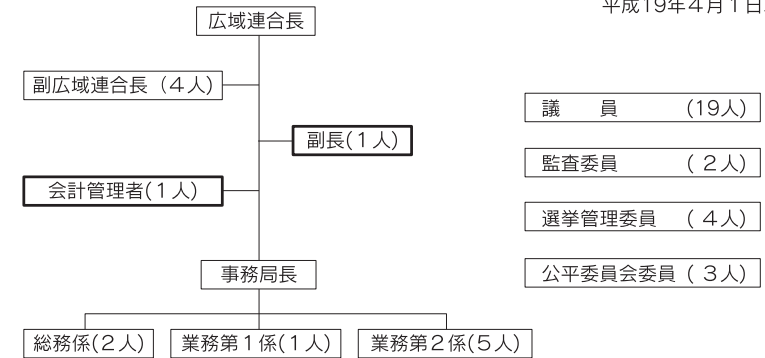
日向東臼杵南部広域連合は特別地方公共団体ですが、市町村と同様に地方自治法の規定が適用されるため、これまでの助役の名称を改め「副長」に変更します。また、収入役についても廃止して「会計管理者」（一般職）を置きます。

このほか地方自治法の改正では、吏員制度が廃止され、事務職員と技術職員の区分がなくなるなどの改正も行われました。

平成19年度からの広域連合の組織図は以下のとおりです。

日向東臼杵南部広域連合組織図

平成19年4月1日現在



- 議会事務局 (2人)
- 監査委員事務局 (3人)
- 選挙管理委員会事務局 (2人)
- 公平委員会事務局 (2人)

※併任職員：広域連合の職員数が限られているため、広域連合が特別地方公共団体としての事務を円滑に行うために、構成市町村の職員を広域連合職員として併任しています。このことで組織の効率化を図っています。平成19年3月1日現在、併任職員数は27人で、内訳は、日向市22人、門川町2人、美郷町、諸塚村及び椎葉村各1人です。

日向市の住民の皆様へ

清掃センターに隣接する日向市の不燃物処理施設が老朽化のため3月末で閉鎖されます。ごみを直接持ってきて来られる皆様にはご迷惑をおかけいたしますがご協力をお願いいたします。



○燃やせるごみ
平日及び日曜日
午前8時30分から午後4時
(正午から午後1時までを除く)。
土曜日及び祝日は、持込みできません。

また、燃やせるごみの個人による直接の持込みは、日向市の住民が対象です。

※燃やせないごみ及び粗大ごみは、4月以降の直接の持込み先は、ひゅうがリサイクルセンター（日向市竹島町）です。持込みできる曜日や時間帯が広域連合清掃センターとは異なります。

詳しくは、日向市環境整備課（53-2256）へお尋ね下さい。

議会だより

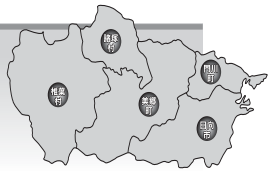


平成18年第3回議会

平成18年11月24日、平成18年第3回議会(定例会)が開催されました。提出された議案は、「公平委員会委員の選任について」平成十七年度日向東臼杵南部広域連合歳入歳出決算の2件でした。広域連合長が、決算について説明した後、代表監査委員が決算審査意見を説明

がんばっちょるよ～構成市町村！

広域連合を構成する市町村のごみ減量化の取り組みなどをシリーズでご紹介します。今回は美郷町(西郷区)と椎葉村の取り組みをご紹介します。



平成19年度から広域ごみ処理体制へ移行

その3 (美郷町)

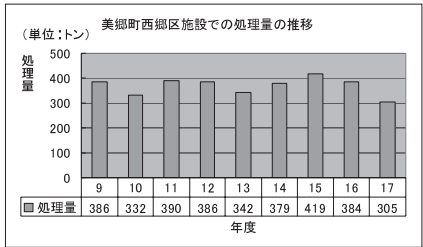
美郷町のうち西郷区のごみ処理の取り組みについてご紹介いたします。

平成18年1月1日に美郷町が発足しましたが、当面は合併前の収集方式を採用し直営収集体制(4名、塵芥車1台、ダンプ2台)となっています。可燃ごみの週2回収集と資源ごみの月1回収集を基本として、西郷区内約150ヶ所に配置したごみステーションを巡回収集しています。

西郷区で特徴的なのは、不燃・粗大ごみについては住民が直接1ヶ所の集積所に持ち込んでいることです。また、県内では珍しい流動床式焼却炉での焼却処理も平成9年度から実施していましたが、平成19年4月1日からは、西郷区の可燃ごみも広域連合清掃センターで処理することになっています。

国や県の示す「ごみ処理広域化」への移行で、日向入郷地区のごみ処理広域化がより明確に前進することとなりました。これとほかに、日向市民の皆様のご寛容なご決断の賜であると感謝いたしております。

今後、ますます資源ごみの分別収集に取り組み、可燃ごみの減量化を実現する事が、私どもに課せられた重要な課題であると考えており、日向入郷地区4R推進協議会での可燃ごみの分別品目の統一化に期待を寄せているところです。



椎葉村のごみ減量化への取り組み

その4 (椎葉村)

～指定のごみ袋有料化、環境美化推進員の活動などでごみの減量に効果～

椎葉村は、平成9年度からクリーンセンターを稼働していますが、稼働当初からごみ袋の有料化を行っています。ごみ袋の有料化は、ごみ処理には費用がかかるということを認識し、住民のごみの減量・分別への意識を高めています。村の年間の可燃ごみ量も年々減少し、平成17年度の可燃ごみの処理量は485tであり、これは椎葉村の住民1人あたり一日に約384gを出していることとなります。

平成16年度から、可燃・不燃ごみでは中袋を導入して、いっそうのごみ処理化を図っていますし、マイバッグ持参運動の啓発として村内で買い物をしてスタンプカード2枚ためると中袋と引き替えることもでき、マイバックの普及やレジ袋の削減につながっています。

また、椎葉村には村内10地区から選任された12名の環境美化推進委員がいます。環境美化推進委員とは、不法投棄パトロールやごみステーションの巡回を行い、ごみの分別や減量化などを中心に地域で指導を行うリーダー役の人達です。

推進員の皆さんの活動により、ごみに対する意識も高まりつつあります。4月から椎葉村は村営のクリーンセンターから日向市の広域連合清掃センターへごみ処理事務の加入をします。そのため、ごみ分別品目が増えますが、推進委員の皆さんと協力して、さらなるごみの減量、リサイクルの啓発・指導を行っていきます。



椎葉村の有料のごみ袋

審議した議案とその結果

【平成18年第3回議会】

- 公平委員会委員の選任について (同意 全員一致)
○平成17年度日向東臼杵南部広域連合歳入歳出決算 (認定 全員一致)

【平成19年第1回議会】

- 日向東臼杵南部広域連合特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (可決 全員一致)
○日向東臼杵南部広域連合広域計画の変更について (可決 全員一致)
○平成19年度日向東臼杵南部広域連合歳入歳出予算 (可決 全員一致)

一般質問 日向市選出の田原千春議員から広域連合長に対して質問の一般質問がありました。

「一般質問」 日向市選出の田原千春議員から広域連合長に対して質問の一般質問がありました。最終処分場と関連して日向市エコタウン計画策定の取り組みがどのようになっているのか、また、二千万円余の不用額の内容について質問が出されたあと採決の結果、全員一致で可決されました。公平委員会委員の選任については原案どおり同意されました。

本広域連合で廃食油のリサイクルの協議を行ったこととはないが、廃食油等の高サイクルの協議を行ったこととはないが、過去にこのこととの協議をした経緯はない。

「平成19年第1回議会」 平成19年3月1日、平成19年第1回議会(定例会)が開催されました。提出された議案は、「日向東臼杵南部広域連合特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」日向東臼杵南部広域連合広域計画の変更について、平成十九年度日向東臼杵南部広域連合歳入歳出予算の3件でした。広域連合長が内容を説明した後、新年度予算の建設費の内訳や汚染負荷量賦課金等の負担金の詳細や、斎場施設の利用状況に関する質問が出されたあと採決の結果、全員一致で可決されました。次回の定例会は、7月の予定です。

広域連合議会議員

平成19年3月1日現在

- 議長 松木 良和(日向市)
副議長 浜田 作男(門川町)
議員 田代 忠孝(日向市)
日高 博之
黒木 末人
鈴木 富士男
黒木 富士
黒木 万春
黒木 万治
日高 一直
西村 豪武
安田 茂明(門川町)
安田 修
日高壽次郎(美郷町)
甲斐 保男
菊田 彦市
甲斐 正人(諸塚村)
松村 晃三
甲斐 美義(椎葉村)
椎葉 大和



(選出市町村別、敬称略)

宮崎県一部事務組合連絡協議会担当者会議を開催

平成18年10月26日と27日の2日間、日向市役所などを主な会場として、宮崎県一部事務組合連絡協議会担当者会議を開催しました。

これは、県内の清掃センターなど環境関連施設の運営を行っている一部事務組合や広域連合の職員の技術等の向上のため開催するもので、今回は12回目の開催。

県内の9つの一部事務組合をはじめ本広域連合の構成市町村の担当者など、45人が参加しました。

一日目は、財団法人日本環境衛生センター西日本支局環境工字部の処分場対策課の八村智明さんを招き「最終処分場の一生・最近の話題」と題して講演をいただいたあと、「し尿部門」、「ごみ部門」の2つの分科会にわかれ、各テーマごとに質疑、意見交換などが行われました。



ごみ分科会の様子

二日目は、当広域連合清掃センターや、日向市の財光寺汚泥処理場の視察が行われました。施設の適正な運転への課題などについて真剣な議論が行

われました。

清掃センターを見学しませんか

私たちが生活する上でどうしても出してしまうごみ。それが、どのように処理されているか見てみませんか。毎年多くの方々が清掃センターを見学しています。まず、大量のごみの量に驚き、分別収集やリサイクルの大切さを肌で感じていたよう

です。清掃センターでは、施設見学を随時受け付けていますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

財光寺南小学校(日向市)が環境美化優秀校に

毎年、広域連合清掃センターを見



児童たちの行動宣言の様子

学に訪れている日向市の財光寺南小学校が、環境美化優良表彰で、リサイクル部門優秀校に選ばれました。

これは、財団法人食品容器環境美化協会

が主催して、まちの美化活動やリサイクル活動などに取り組んでいる学校を表彰するもので、「優秀校」に選ばれたのは、財光寺南小学校を含めて全国で6校。またこの賞は、同部門の最優秀賞に次ぐ賞です。

同校のこの取り組みは平成14年度から。児童でつくるISO委員会を中心に5つの行動宣言を掲げてその達成に全校で取り組んでいます。

編集後記

財光寺南小学校の受賞おめでとうございます。各学校では、それぞれ環境保護やリサイクル活動などに取り組んでいることと思います。清掃センターに見学に来られたときは、皆さんの学校での取り組みを教えてください。(K)

行動宣言は、節電、節水、ごみの減量化、ものを大切にするなど。ISO委員会では、昼休みに電気や水道の無駄はないかの見回りや、週に2回の燃えるごみの計量などを行ってその結果を次の活動に反映させています。学校では、今回表彰を受けたこととさらに環境を大切にすることを高まつていこうと。

平成18年度に見学された皆さん

学校、団体名	人数
塩見小学校	19
財光寺小学校	102
財光寺南小学校	76
大王谷小学校	131
坪谷小学校	10
富高小学校	98
日知屋小学校	1
日知屋東小学校	131
門川小学校(門川町)	87
草川小学校(門川町)	55
田代小学校(美郷町)	49
都農東小学校(都農町)	22
財光寺中学校	8
日向中学校	4
富島高等学校	2
切島山高年齢学級	15
曾根青寿	23
高砂高年齢者クラブ	40
田の原高年齢者学級	23
原町えびす会	15
みみつ大学及び神武学級	40
広見地区ほのほの会	18
東草場自主学級	20
八重原女性学級	10
美々津中学校家庭教育学級	8
日向市環境市民会議	30
日向入郷地区4R推進協議会幹事会、担当者	10
宮崎県一部事務組合等連絡協議会担当者会議	12
宮崎県公立小・中学校初任者研修	10
イオン九州株式会社	3
美郷町北郷区婦人会	23
美郷町南郷区水清谷	25
美郷町南郷区水清谷老人クラブ福寿会	22
諸塚村議会議員	7
合計	1,149